

14. ポストン福島シャトル便

また、ほぼ2か月ぶりになりました。楽しい町田先生の寄り道便があって助かりました。仕事がまったく終わる気配がありません。こんなに真剣に論文を投稿前に書き直し続けて、新しいことを学び続けるのは大学院生の時以来かもしれません。大学院から今までの間、研究に真剣に取り組む姿勢において、怠けすぎていました。そして、研究以外のことでの出来事も沢山ありました。

最近では夫の家事育児の技術がすばらしく上達して、帰宅後数時間リラックスする以外は、仕事に没頭できます。こんなに恵まれた状況が、あと2か月堪能できます！右の写真は研究室のデスクです。こんなフェローのデスクが9台並ぶ部屋の壁には、歴代のフェローの写真が飾ってあり、私のデスクの真上には、星北斗先生と中村安秀先生が写っています。



セミナーの最中に夫から電話がかかってきて、子どもが救急受診をしなければいけなくなったとのこと。慌てて大学のすぐ近くの Children's Hospital に駆けつけました。結局大したことなかったのですが、こちらの救急医療の様子分かって親2人は勉強になりました。はじめ救急の担当医が来て、次に専門医に回されて、次にエコー専門医に回されて、その度に受診費がいくら上がったのだろうと考えずにはいられませんでした。というのも、私自身の具合が悪くてかかりつけ医を受診した時、血液検査の合計が20万だったからです。保険のありがたみを体験しています。写真は救急外来の部屋で、受診すると患者1人1人個室に案内されます。部屋には素敵な絵が飾ってあって、テレビもありました。



仕事が大変といいながらも、子どもの春休みで、またフロリダの動物園のついでにホテルに泊まりに行きました！右は部屋から見える風景です。ところが、気持ちよく過ごしていた月曜日に、大学から安否確認の連絡がきました。



ボストンでの爆破事件があった直後です。ホテルのフロントに何があったのかを聞いて、新聞やテレビをみて、家からそう遠くないところでの事件に驚きました。同僚の一人は近くに住んでいたのので、捜査のために自宅に帰れず友人宅にいるという連絡もありました。犯人を捕まえるために警察が動いたその週の金曜日は街中に外出禁止令が出て、家でテレビを凝視していました。写真は先週末撮った現場近くの人だかりと桜です。事件後の標語は Boston Strong です。



暖かくなってきたらボストン中で桜が咲き始めて、嬉しい驚きでした。染井吉野、山桜、枝垂桜、八重桜、一気に咲いています。写真は近所の桜です。



何のまともりもありませんが、仕事している中で日々の出来事が流れていくのが実際の毎日です。ではまた。